

## 地域づくり

### 地域共生社会への取組みは

答弁: 市民の皆様と協働のまちづくりを進めていくことが、これからの長寿社会における地域共生社会の地域づくりにつながるものと考えます。

森本 寿子 議員

森本 子どもや高齢者、障がい者など、全ての人が住み慣れた地域で自分らしく生活していくために、様々なニーズに対応する全庁横断的な相談体制を構築していくことが大変重要であると思います。地域共生社会についての将来的な取組みについての考えをお伺いします。

市長 本市では、加須市協働によるまちづくり推進条例を制定し、まちづくりの基本理念や基本原則、それぞれの立場での役割、責務等を示し、市民が主体、主

役となる市政運営の基盤を固めてきました。また、市民相互の信頼関係やコミュニティ意識を高めるとともに、地域力の向上のため、家族・地域の絆推進運動を推進し、地域共生社会の趣旨を生かした地域づくりを進めているところでございます。今後におきましても、関係する市民の皆様も含めた地域づくりを進めていくことが、これからの長寿社会における地域づくりにつながっていくと考えております。

## 交通安全対策

### 交差点に一時停止標識を設置することについての対応は

答弁: 当該交差点への一時停止の規制は、交通量等の調査結果から難しい状況であるため、車両のスピード抑制等を図るための安全対策を加須警察署と協議してまいりたいと考えております。

田中 良夫 議員

田中 アスタホール東方向の沖合排水路、通称めだかの小径と並行する南北の道路のうち3力所の交差点では、栗橋駅西土地区画整理事業が完了し、信号機がないため栗橋駅への抜け道として通過車両が多く、さらに一時停止の標識が設置されていないことから、出会い頭の交通事故も発生しております。この3力所の交差点で地域住民が事故に遭わないよう、また事故を起こさないよう、一時停止の標識を設置することについての考えをお伺いします。

大利根総合支所長 現地の

状況を確認し加須警察署と協議を行いました。加須警察署では交通量等の調査結果や当該交差点の事故発生状況から、一時停止の規制をしなければ交通事故防止や安全な通行が図れない状況ではないため、一時停止の規制標識の設置は難しいとのことでした。現在、市ができる法定外の路面標示等を設置しておりますが、さらに車両のスピード抑制等を図るため、文字による路面標示や看板など加須警察署と協議し、効果的な安全対策を講じてまいりたいと考えております。

## まちづくり

### 都市計画法第34条第11号についての考えは

答弁: 規制緩和のもたらした効果は、本市にとってプラスの効果があったと認識しておりますが、問題もあるということは申し上げたいと思います。

竹内 政雄 議員

竹内 都市計画法第34条第11号については、今後の計画的なまちづくりや農業問題、環境問題、中心市街地の空洞化問題、さらに地域間の格差等、様々な意味で大変重要だと思っております。11号区域に対する考え方と今後の見直しについてお伺いします。

市長 都市計画法第34条第11号の指定による規制緩和については、その効果は一定程度あったと認識しておりますが、それ以上の課題も見えてきました。全国的

に人口が減少している状況から考えると、やはりこの規制緩和も適時適切に見直しをしていく必要があります。本市のまちづくりを社会状況の推移を見ながら検討していく必要があると考えております。規制緩和のもたらした効果については、今の加須市にとって総合的に考えるとプラスの効果があったと現時点では認識しております。しかしながら、問題もあるということはお申し上げたいと思っております。

## 空家対策

### 空家対策補助制度に対する考えは

答弁: 空家問題が少しでも進展する仕組みを研究しながら、本市にふさわしい対策を講じていく必要があるとの考えのもと、適切な対応をまいります。

大内 清心 議員

大内 空家等対策特別措置法が全面施行されてから、多くの自治体で、様々な補助制度により、空家対策が進められています。本市でも空家の数は増え続けており、早期の対応が求められています。他市の例では、空家の解体補助制度や空家を活用した人に補助金を支給する制度などの取組みを行っております。本市では空家バンク等に取り組んでいくとのことですが、空家の解体補助制度も含め、工夫を凝らして魅力ある取組みを行っていただきたいと

思います。考えをお伺いします。

市長 空家問題については、基本的には個人の財産であるため、行政がどの程度手を加えられるのか難しい問題です。また、行政が税金を使ってどの程度まで対策をとるのかについては、各市の置かれた状況により様々でございます。今後とも空家問題が少しでも進展する仕組みを研究しながら、本市にふさわしい対策を講じていく必要があるとの考えのもと、適切な対応をまいります。